

VI 用語解説

	用 語	ページ	解 説
1	確かな学力	10	基礎的・基本的な知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めた学力のこと。
2	CBT	10	Computer Based Testing（コンピューター ベースド テスティング）の略。コンピューターを使った試験方式のこと。
3	CRT	10	Criterion-Referenced Test（クライテリオン リファレンストテスト）の略。目標準拠評価。授業などで設定した目標がどのくらい達成できたかを知るテスト。目標と比較して自分の到達度を測る。本町では東京書籍版を採用している。
4	AAR	11	Anticipation（見通し）、Action（行動）、Reflection（振り返り）の頭文字を取った言葉であり、学習者が「見通し、行動、振り返り」を繰り返し行い、自ら主体的に学びを深めるプロセスのこと。
5	コアメンバー	11	各校でICT機器活用に長けた者を指す。
6	GIGAワークブックながさき	13	長崎県と一般財団法人LINEみらい財団が連携して作成した、児童・生徒向けの活用型情報モラル教育教材。1人1台のICT端末（GIGA端末）環境において、ネットの危険性を避ける「情報モラル」と、情報を上手に活用する「情報活用能力」を一体的に学ぶことができる。
7	ビブリオバトル	13	決められた時間内に本の内容を紹介し、「読みたい」と思った人が一番多い本をチャンプ本とする書評合戦のこと。
8	ジャックナイフストレッチ	15	太ももの後ろの筋肉の柔軟性を高める運動で、股関節の柔軟性向上につながる。
9	ロールプレイング	15	特定の「役割（Role）」を「演じる（Play）」ことで、実際の状況を模擬的に体験する学習方法。
10	ブレインストーミング	15	複数人で意見やアイデアを自由に言い合い、新しい発想や解決策を生み出すための会議手法（集団発想法）
11	学びのセイフティネット	25	子どもたちの誰もが、家庭の経済事情にかかわらず、将来に夢や希望を持ち、安心して学ぶことができるよう教育の機会均等を図る取組のこと。
12	ながさきファミリープログラム	27	長崎県が平成22年度に作成した参加型の親育ち学習プログラムで、グループ学習により親同士が交流し、支え合う関係を築き、またネットワーク構築を目指す。
13	Enjoy! パパママ事業	27	地域が主体となって、地域の方々との交流を図りながら若いお父さん・お母さんが楽しく子育てを学ぶ学習会。

	用 語	ページ	解 説
14	五つのしおり	29	本町では、町民すべての道徳心を高める道しるべとして、「五つのしおり」を掲げ取り組んでいる。 ・あいさつを大きな声でします。 ・へんじをはっきりいいます。 ・はきものをきちんとそろえます。 ・まわりをいつもきれいにします。 ・時間をきちんとまもります。
15	デジタルサイネージ	30	液晶ディスプレイやLEDディスプレイ、プロジェクターなどの映像表示装置を使って情報を発信するシステムのことをいう。
16	カナリーステージナイン	33	町立小中学校の全児童生徒を年に1回、小学校入学から中学校卒業までの9年間（計9回）ホールへ招待し、舞台芸術にふれてもらう催しのこと。子どもたちの成長段階に応じたステージを鑑賞してもらい、色々なことを感じ、生で舞台芸術を鑑賞する楽しみを知ってもらうことを目的とする。
17	オンガクたぐはいびん	33	とぎつカナリーホールなどが主催する地域密着型の音楽コンサート事業。プロの音楽家が町内の幼稚園や福祉施設に出向き、生の演奏や歌声を届ける取り組み。